

ネイティブT4感染大腸菌ポリヌクレオチドキナーゼ

Cat. No. NATE-0605

Lot. No. (See product label)

はじめに

□明

ポリヌクレオチドキナーゼは、ATPのγ-リン酸を単鎖および二本鎖の核酸（DNAおよびRNA）と3'-ヌクレオシド-リン酸の5'ヒドロキシル末端に転送する「前方反応」を触媒します。ADPを含む交換反応では、酵素は5'-末端リン酸基とATPの交換を触媒します。3'-ホスファターゼ活性により、酵素はリン酸化ポリヌクレオチドから3'-リン酸基を除去することができます。

用途

適している用途: • 5'末端ラベリングによる配列決定または核酸タグ付け（DNAおよびRNA）
• オリゴヌクレオチドの5'リン酸化 • リン酸化ポリヌクレオチドからの3'-リン酸基の除去

別名

ポリヌクレオチド 5'-ヒドロキシルキナーゼ; EC 2.7.1.78; 37211-65-7; ATP:5'-デフオスフォポリヌクレオチド 5'-ホスファターゼ; PNK; ポリヌクレオチド 5'-ヒドロキシルキナーゼ(リン酸化); 5'-ヒドロキシルポリヌクレオチドキナーゼ; 5'-ヒドロキシルポリリボヌクレオチドキナーゼ; 5'-ヒドロキシルRNAキナーゼ; DNA 5'-ヒドロキシルキナーゼ; DNAキナーゼ; ポリヌクレオチドキナーゼ; ポリヌクレオチド 5'-ヒドロキシキナーゼ

製品情報

由来

T4感染大腸菌

形態

緩衝された水性グリセロール溶液

EC番号

EC 2.7.1.78

CAS登録番号

37211-65-7

分子量

mol wt 33 kDa

活性

10単位/μL

濃度

10単位/μL

単位定義

1ユニットは、37°Cで30分間、マイクロコッカスヌクレアーゼ処理されたDNAの5'末端に1ナノモルの32Pを転送する触媒作用を持ちます。転送は、酸不溶性物質への取り込みとして検出されます。

保管・発送情報

保存方法

-20°C